

(款) 55教育費 (項) 10小学校費 (目) 15学校建設費

◎小学校施設整備の経費

防災対策事業

【 学校施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立小学校

意図 安全で良好な教育環境を確保するため。

効果 児童が安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

【事業の内容】

(1) 公共建物耐震補強事業

- ・ 富士塚小学校の体育館耐震診断・評価及び耐震改修設計を実施した。
- ・ 七里ガ浜小学校校舎耐震改修工事を行った。
- ・ 深沢小学校・玉縄小学校体育館耐震改修工事を行った。
- ・ 耐震改修の前倒しにより、富士塚小学校体育館の耐震改修工事を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

学校施設の耐震診断・補強(4-2-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
112,689	96,258	93,716		2,542
主な支出内訳				
・ 公共建物耐震補強事業				
富士塚小学校 体育館耐震診断・評価・耐震改修設計委託料				5,040
七里ガ浜小学校 校舎耐震改修工事請負費(北棟)				48,247
深沢小学校 体育館耐震改修工事請負費				13,839
玉縄小学校 体育館耐震改修工事請負費				7,190
富士塚小学校 体育館耐震改修工事請負費				19,400
主な特定財源				
・ 国県支出金				54,842
・ 地方債				27,300

事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 教総-12 防災対策事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	822	小学校耐震補強事業						
主管課	学校施設課			関連課					
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	市立小学校16校の安全で安心な教育環境を確保します。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日 ・学校基本調査 (各年5月1日)				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	児 童 数	7,804人	7,523人	7,394人					
運営資源 状 況	決算値	93,716千円	94,014千円	44,871千円	20年度人件費 8,819,250円				
	(国・県)	54,842千円	34,938千円	10,100千円					
	(負担金等)								
	(一般財源)	38,874千円	59,076千円	34,771千円					
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人					
	人 件 費	1,764千円	1,783千円	1,813千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	95,480千円	95,797千円	46,684千円					
	市民1人当 りの経費	541円	545円	267円					
	対象者1人 当りの経費	12,235円	12,734円	6,314円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※				
耐震事業の促進	19,400	体育館の耐震工事を前倒して実施(富士塚小学校)			④	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
校舎・体育館の耐震化率 (小・中学校合計)	○	目標値	74.8%	80.2%	86.8%	96.2%	96.2%		
		実績値	74.8%	80.2%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
耐震化率	92.0%	94.3%	98.1%	88.2%	80.2%	90.7%	95.0%	98.6%	100.0%
小中学校合計 (校舎・体育館)									
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市
100.0%	95.9%	95.5%	92.4%	95.0%	90.9%	100.0%	87.7%	83.0%	100.0%

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・これまで改築する方針であった体育館を耐震改修する方向へ転換したことにより、関係各課との調整が必要であった。 ・国の補助基準の中で、対象経費となる範囲が限定されているため、教室全体の改修ができなかった。 ・前期実施計画へ未掲載の事業については、掲載に向け、関係課かいと調整が必要である。 ・耐震工事の加速化に伴い、夏休みにこだわらず耐震工事を行うために、施行時期等の検討をする必要があった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(上記課題・問題点についてどのような創意工夫、改善(対応)をしましたか) ・体育館の耐震化に関する情報収集や、検討・調整を重ねて行った。 ・照明設備など、どうしても改修が必要なものについては、市の事業として施工した。 ・実施計画のローリング作業により、中期実施計画内で、全ての耐震改修工事が完了するように、計画を策定した。 ・夏休み以外の工事については、学校現場に少なからず影響を与えるが、早期の耐震化のために、学校の理解と協力を得ながら進めていくこととした。富士塚小学校体育館の耐震工事を前倒しで、3月から7月の工期で実施した。御成・玉縄中学校の体育館の耐震工事を前倒しで、3月から7月の工期で実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	学校施設の耐震改修は、これまで学校施設整備の最優先課題として位置づけ、実施計画事業として計画的に進めてきた。未実施の施設については、一日も早く耐震改修が完了するよう努力していきたい。また、国の補助率等も改正されている中、手続きについては県と随時調整のうえ、もれのないよう進めていきたい。			
担当課長氏名:	学校施設課長 宮崎 順一			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	耐震改修については、これまで校舎の改修を優先して進めている。しかし、体育館は災害時の防災拠点となる施設であり、他都市の地震災害時の例を見ても、長期間に亘り避難場所として活用されている。そうした視点から体育館の耐震改修についても、校舎と同様に積極的に進めていく必要があると考えている。			
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭	